

## 平成 25 年度 研修講座の様子①



開会式で挨拶する胆振教育研究所 小林所長



本講座の講師 伊達市立伊達中学校 住吉先生

去る 7 月 29 日、午後 1 時より平成 25 年度胆振教育研究所研修講座が、のぼりべつ文化交流館 カント・レラで行われました。今年度は昨年に引き続き、「道徳教育の充実と効果的指導法～小・中学校における道徳の時間の授業づくりについて～」というテーマで実施しました。講師には伊達市立伊達中学校の住吉慎一先生を講師にお招きし、40 名を超える胆振管内の小・中学校の先生に参加いただきました。



研修講座前半の、「道徳の時間の基礎・基本」の講義では、①学習指導要領の改訂からつかむ道徳教育のポイント、②道徳教育の全体指導計画作成のポイント、③道徳の時間の授業づくりのポイント、④道徳の時間の授業実践例について、資料を用いながら、わかりやすく教えていただきました。

## 平成 25 年度 研修講座の様子②



研修講座後半の「道徳の時間の授業づくり」の講義では、5～6名の小グループを作り、絵本を題材にしたワークショップを行いました。指導案の作成では、内容項目の立て方、本時の展開（導入→展開前段→展開後半→終末）などを研修することができました。



意見交流の中では、内容項目の選び方や、授業内における内容項目と関連項目とのつながりについて活発な交流が行われました。

住吉先生からは発達段階において、資料の中の場面の取り上げ方や発問の工夫が必要であることを教えていただきました。

講座を通して小・中学校すべての先生が道徳の時間を身近に感じていただくとともに、授業者が楽しんで参加できるヒントを見つけることができました。